

ほくでん情報テクノロジー株式会社と株式会社調和技研は 資本業務提携をいたしました

ほくでん情報テクノロジー株式会社と株式会社調和技研は、AI ビジネスに関して、資本業務提携をいたしました。

デジタルトランスフォーメーション (DX) の波は、社会インフラの進化においてもその重要性を増しています。特に、電力、ガス、水道などの分野では、DXを通じた効率向上、データの有効活用、レジリエンスの強化、リスク管理の最適化、サービス品質の充実が求められており、その達成には AI 技術が必要不可欠となっています。この背景を受け、ほくでん情報テクノロジー株式会社 (本社: 札幌市、代表取締役社長 魚住 元、以下「ほくでん情報テクノロジー」) と株式会社調和技研 (本社: 札幌市、代表取締役社長 中村 拓哉、以下「調和技研」) は、資本業務提携について合意いたしました。

ほくでん情報テクノロジーは、北海道電力のグループ IT 企業として高い信頼性が要求される業務システムや情報インフラの構築・運用・保守サービスを一貫して担っております。昨今の急速な情報技術の進展、ビジネス環境・市場の変化ならびにサービスの多様化・高度化に対応したソリューションの提供及びデータセンター (H-IX) の運営を行っております。

また、調和技研は北海道大学から生まれたスタートアップとして、AI 技術を駆使した社会貢献を目指して活動しています。社会インフラに関する DX 推進は、同社の豊富な経験とノウハウが発揮される重要なフィールドです。

今後は、ほくでん情報テクノロジーと調和技研が協力し、これまで培ってきた技術力とノウハウを生かし、AI 技術を取り入れたシステム開発やソリューション提供を加速していくとともに、両社が持ち寄る強みを活かし、共同で新しい価値を創造していく所存です。

今回の提携により、両社は以下のような共通のビジョンを持ち、それを実現するために協力してまいります。

1. AI 技術を活用し社会インフラの DX 推進を加速

社会インフラの効率化、データ利用の拡大、レジリエンスの強化、リスク管理の最適化、サービス品質の充実を実現します。

2. 共同開発及びサービス提供

新規 AI サービスやプロダクトを共同開発し、市場への提供を進めます。

3. 営業領域の拡大

提携により両社の営業領域と知名度が拡大し、新しいビジネスチャンスが生まれます。特に北海道での社会インフラ関連プロジェクトにおいては、両社によるシナジー効果を発揮したプロジェクト提案・受注を促進します。

News Release

ほくでん情報テクノロジーと調和技研は強力な連携のもと、共に成長し、北海道だけではなく全国のお客さまに対して付加価値の高いサービス提供ができるよう努めてまいります。

以上

本件に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

ほくでん情報テクノロジー株式会社 経営企画部

TEL 011-330-7601

株式会社調和技研 広報担当

TEL 011-717-7017